



大いちょう

平成30年 1月 9日
さいたま市立高砂小学校

高砂小学校だより 平成29年度 No. 9 048 (829) 2737

心の姿勢を整える ～初めの一步～

校長 石山大介

明けましておめでとうございます。どのご家庭でも佳き新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。平成30年 2018年の幕開けです。

今から150年前の1868年に元号が慶應から明治に変わりました。明治維新の始まった頃です。ですから今年は「明治150年」とか「維新150年」とも呼ばれる訳です。その3年後の1871年 明治4年3月1日に本校（浦和郷学校）が誕生しました。あと数年で本校は150歳を迎えます。

さて「一年の計は元旦にあり」といわれます。これは古い時代から伝わる諺（ことわざ）です。この諺の「計」には、一日の計、一年の計、一生の計、一家の計の4つの意味があります。一年の計は、その年の計画は元旦に立てることの大切さを表しています。一日の計も一生の計も、自分の一生の計画を若いうちに立てることの大切さを表しているのだと思います。

皆さんは今年の「一年の計」、立てましたか。

計画を立てるには、必ず目的・目標がなければなりません。一年後には、数年後にはどうなりたいのか。近い将来、あるいは未来、自分はどうなっているのか。いや、自分をどうするのか、どう生きたいのかを、しっかりとさせることが大切です。

「将来のことなんか、分からない。どうせ、運命だから」

私自身、そういう考えに陥ったこともありましたが、運任せでよいのでしょうか。

人は誰しも、新しい自分になりたい、あるべき姿の自分になりたい、ならなければいけないという気持ちをもっています。あるいは、家業を継ぎたいとかお医者さんになりたいとか、夢や希望を抱いています。それを実現するのは、その気持ちを「行動」にうつし、「実践」することです。

運任せでは困ります。当たるも当たらずも運次第。運任せにするのは「努力」を積み重ねた後で十分です。皆さんの人生は宝くじではありません。「地道にやること」でこそ、自分の「運命」をつくり出すことができるのです。

考え方に気を付けて	考え方は言葉になるから
言葉に気を付けて	言葉は行動になるから
行動に気を付けて	行動は習慣になるから
習慣に気を付けて	習慣は人格になるから
人格に気を付けて	人格は運命をつくるから

「人格教育のすすめ」（リコーナ著）より

皆さん一人ひとりの未来は日常にあります。新年を迎え改めて心の姿勢を整えて、確かな初めの一步を踏み出してください。

保護者、地域の皆様、今年度も余すところ3か月となりました。修了式までは54日の授業日です。大変短い学期に1年間の教育活動の総仕上げをしていきます。今学期もどうぞよろしく願いいたします。